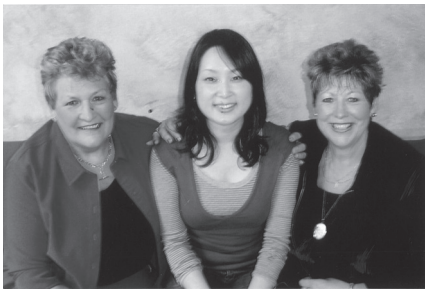
クリニック全体の流れを勉強することができました。大変なこともありましたが、すごく楽しく仕事をしていたのを覚えています。

その後、やはり海外生活に対する思いは強く、２００２年にオーストラリアのシドニーへ移住。ニュージーランド人の主人は、日本に来る前はオーストラリアに住んでいたので、主人の家族もいるシドニーに住むことにしたのです。

移住の理由は、海外でのんびり子育てをしたいというのが一番。そして自分自身、英語の環境で生活し、仕事をしてみたいという思いからでした。

現地での求職中、よく募集要項で目にしたのが、『Great Communication skill』、『Great Written/Speaking English』等でした。そのため私は語学学校に通うことに。日本で英語ばかり勉強し、英語も教えていた経験もあるのに、現地では思うように意思疎通ができないことを経験していたからです。語学学校がひと段落した後も、日系の会社や日本食レストランで働きました。



▲オタゴ大学歯学部で働いている時にお世話になった先輩たちと

少しずつシドニーでの生活にも慣れ、友達も増え、海外での自分にも少しずつ自信が持て始めた頃……。何と主人が不当解雇にあいました。徐々に築いていた土台が一気に崩れ去り、主人も私も人間不信になったり、暗い気持ちの日々を送っていました。

主人と私の再スタート

その時受けた心の傷は深く、言葉では言い表せない程悔しい思いをした主人。ですが、これをきっかけに心機一転、弁護士になることを決意、ニュージーランドのオタゴ国立大学へ入学することにしました。２００４年のことです。

ニュージーランドの南島南東に位置するダニーデン市は、私の北海道の地元・北見市程の小さな町。シドニーからダニーデンに移り住んだときは、その町の小ささに何となく安心感を覚え、シドニーから比べると何もかも不自由（笑）に思えることですら新鮮でした。ダニーデンの人々はとても気さくで温かみを感じました。